

第44回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



図画1部
山形県知事賞
「おいしいよ うちのごはん」
尾花沢市立鶴子小学校2年
秋保 一路 さん



令和2年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部

作文2部

庄内米は最高のお土産

庄内町立余目第三小学校6年

園部 杏莉

文部科学大臣賞

作文1部

日本のこころ「おそまつさま」

米沢市立北部小学校3年

青木 舞桂

[illegible]

日本のことゝお元まつさま
水沢市立北野小学校三年 青木 眞樹
ふつちをうまでした。
「お元まつさまでした。」
これはいつもの私たちのあいさつ。よるで
合言葉のように、私が「ふつちをうま」とい
うと必ずおばあちゃんはお元まつさま」と
ふつち。
そこで私はその意味を調べてみた。すると
「お元まつさま」としてふるまふとき、その相
手は「大した料理とばかりではありませんが」とい
う。それらの気持ちをおぼわす「ま」が書いて
あったので、私はおばあちゃんに「今日は大
好きなのういから」と五つ々米だの、ふつち
をうま、とさうとさうと、おばあちゃんには「な
るほどね」とさうと「ううん、ううん、ううん」
おしい、おはんのおれに、私はいつも寛べ
終わ、た食器やおかね、炊飯器のおりやれ
すもじを一人であつち。たがいに水を張つて
がり洗剤を二、三滴たがして泡立て器でかき

うになりました。一庄内米価は、ありあけ
うにおごさん、おはさんの言葉になせが恥す
かしくなす。ツンなんものごめぬわい。
おひました、するん二人は、何よりのお二層
たよ。山形は何もうまいかな。お前にも
日おいし物食べへるまでやせなある。とて
しました。自然に聞きて喜ばすこの言を
東三には色々あるけれど、すまはんおどろだ
した。その物が、見た目は華やかだけれど、おし
さんは自分のさまたき貴、店場所でもある庄内
の誇りでもあり、庄内米はいくつに金、すも
負金に金かすこと、かきない話してくたさ
した。秋は風に飛すかきなり、夕日に照ら
された工場の左内米を売出す口でした。
またいつかの味には、と落ちつくのを感
ずした。そして庄内の風気が目に浮かび、夏
より来り初日の一つのに輝きたいを別々に
なすしました。

翌日も夏の釣りを歩きました。父さんとくる雪
割。どこに行、ても大勢の人。そう言うがあ

まづ、おのたらいの中で食器は洗拂きよき
そうにしてゐる。手際よく洗ひと洗ひ終へ
と、おほあぢやんはいつす、上へだね。あれ
がどうとほめてくれるから、次の日給は一
人でお飯とおみそ汁を作ることにした。
お米を水洗ひするときは栄養素を削ぐべから
ないようにやさしく洗いぬぐひ、水の量は少し
多めだ。そのまじしばかりにお米に水を加へ
てお火を炊く。一飯が炊き上がるまでの時間、
今度はどういふおかげのおみそ汁作り。だし
汁を入れたなべに火にかけて材料を入れ、煮
立たせてから火を止めてお米と湯を入れると
おみそ汁の出来上がり。炊き立ての一飯とお
みそ汁をとり付けて、おほあぢやんに食せて
もらう。おほあぢやんは全額べりりと食へて
かうたよ。ごちそうさまでした。とすてく
れたので、おほあぢやんさんして、おえまよさま
がした。と言ふた。胸の心の中でさやがひ
がよと喜び笑ひたようにおほあぢやんは笑ひた。

口の片唇。怒罵の呼吸のするスライツ。と
 裏に響く。新鮮で時間はあ。に。かう間に過
 ぎました。でも、大勢の人もかき合ひながら
 歩く私の心には。なでかす。と。店内の風気が
 つかえます。夏。湯山に煙ま。と。人々
 見える頃に日差しが眩し。夏には。日
 は。海。の。ま。つ。田。ん。に。は。ボ。ツ。と。た。た。ま。む。サ。サ。サ。
 板には。夏。の。風。に。な。び。き。不。に。は。田。ん
 には。雷。が。落。り。積。も。る。銀。世。界。元。気。が。ない。と。き
 も。あ。る。を。鹿。べ。る。と。不。満。に。元。氣。が。出。る。事。一
 程のおまに。は。じ。人。の。神。様。が。いて。又。して。相。木
 に。する。な。と。小。な。な。道。か。り。数。人。す。も。り。五。二。く
 す。みる。に。松。の。目。の。茶。ら。し。に。は。い。つ。と。田。圃。界
 界。が。あ。り。不。の。地。す。多。く。の。土。質。を。分。けて。作。り
 表。れ。あ。る。で。秋。の。種。が。出。さ。い。い。ろ。ろ。ま。す。
 山。路。に。は。明。を。ない。い。い。ろ。ろ。と。聞。こ。え
 て。い。ま。した。山。内。は。私。を。驚。て。う。ろ。た。入。り。な
 場所。す。ま。ま。が。あ。る。と。ころ。です。誰。か。り。し。て
 は。ある。店。内。も。私。に。二。三。か。り。と。お。さ。し。局。に。座
 っ。た。い。と。思。う。ま。す。



みんなの
よい食
プロジェクト



つや姫
TSUYAHIME



◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会代表理事会長 長 澤 豊 1

◆第44回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール入賞一覧 2

◆図画部門

図画1部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 3

図画2部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 4

図画3部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 5

◆作文部門

文部科学大臣賞 6
農林水産大臣賞 7

作文1部／山形県知事賞 8
山形県農業協同組合中央会会長賞 9

作文2部／山形県知事賞 10
山形県農業協同組合中央会会長賞 11

作文3部／山形県知事賞 13
山形県農業協同組合中央会会長賞 15

◆審査講評

作文部門審査講評 山形市立金井小学校校長 佐藤 昌彦 17

図画部門審査講評 寒河江市立高松小学校校長 横山 和弘 18

◆第33回～第44回 入賞一覧 19

◆審査経過の概要 21

◆募集要領 22



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会

代表理事会長 長澤 豊

第四十四回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さん、とても素晴らしい作品をありがとうございます。心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJAグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた稲作農業、ごはん食と健康の結びつきを見直してもらうため、昭和五年度からこのコンクールを実施しており、今年度で四十四回目を迎えます。

今回は、県内の小・中学校から作文三九二点、図画九七〇点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。

全国コンクールにおいては、作文部門二部で文部科学大臣賞、同部門二部で農林水産大臣賞、同部門三部で優秀賞を受賞する成績を収めました。これは入賞された皆さんのご努力はもちろんのこと、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、田植えや収穫作業、ごはんをおいしそうに頬張る様子などをいきいきと表現したものや、ごはんを通じた家族との温かいつながり、お米やふるさとの素晴らしい価値などを豊かに表現したものなど、心に響く作品ばかりでした。ごはん食や農業の果たす役割の大きさ、ありがたさが素直に表現されており、日本人の生活とお米は、深く結びついていると改めて実感させられました。

どうか皆さん、普段何気なくごはんを食べることが出来る幸せを忘れな

いでください。また、お米をはじめとした農畜産物を作る農家の苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを大切にしてください。そして、自然や生き物すべての命を大切にすることを、いつまでも持ち続けてください。

現在、日本は、世界中の国々と貿易を行い、食料の多くを外国から輸入しています。皆さんは、わたしたちが毎日食べている食べ物が、どこで作られたものなのか知っていますか。食べ物全体のうち、どのくらい日本国内でつくっているかを示す食料自給率は三七%であり、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなるのが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことを考えています。

私たちJAグループは、地元産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大や皆さんの安全な食生活の確保に向けて、日本人の主食である「ごはん」を中心とした日本型食生活の推進、学校給食における安全・安心な農畜産物の提供、「食」と「農」の大切さを伝える食農教育の推進に向けた取り組みに層努力してまいります。そして、農業者や地域の皆様にとつて「なくてはならないJA」となれるよう、引き続き様々な取り組みを進めてまいりますので、これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、本県産「つや姫」は、平成三年のデビュー以来、多くの方々からご好評をいただき、皆さんにとってもお馴染みのお米となったことと思います。また、「昨年秋に本格デビューした「雪若丸」も、「つや姫」に負けず劣らずご好評いただいております。本県では、「つや姫」や「雪若丸」のほかにも、「はえぬき」などのおいしいお米をたくさんつくっています。私たちは、これからも安全・安心でおいしいお米を皆さんにお届けしてまいりますので、応援をよろしく願います。

最後に、当コンクールをますます発展させていただきますよう皆様からのご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

第44回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

- 文部科学大臣賞 (作文1部) 青木 舞桂 米沢市立北部小学校 3年
- 農林水産大臣賞 (作文2部) 園部 杏莉 庄内町立余目第三小学校 6年
- 優秀賞 (作文3部) 丸谷 真嬉 鶴岡市立鶴岡第三中学校 1年

山形県審査における入賞者

作文部門

●1部 (小1～3年)

- | | | | |
|-------------|-------|------------|----|
| 山形県知事賞 | 相田 瑛舞 | 南陽市立中川小学校 | 2年 |
| 山形県農協中央会会長賞 | 田村 理音 | 米沢市立北部小学校 | 2年 |
| 優秀賞 | 横山 莉子 | 山辺町立作谷沢小学校 | 3年 |
| | 菅原 菜央 | 東根市立東根小学校 | 3年 |
| | 矢口 美颯 | 最上町立向町小学校 | 2年 |
| | 北澤 優志 | 米沢市立上郷小学校 | 2年 |
| | 森谷 茉南 | 鶴岡市立羽黒小学校 | 3年 |

●2部 (小4～6年)

- | | | | |
|-------------|-------|-----------|----|
| 山形県知事賞 | 安部くるみ | 米沢市立興譲小学校 | 5年 |
| 山形県農協中央会会長賞 | 宗形 柚希 | 山形市立東小学校 | 6年 |
| 優秀賞 | 後藤 怜皇 | 最上町立向町小学校 | 6年 |
| | 安食 日涼 | 戸沢村立戸沢小学校 | 5年 |
| | 我妻 尚哉 | 高島町立和田小学校 | 4年 |
| | 伊藤 清子 | 米沢市立南原小学校 | 4年 |
| | 佐藤 舜太 | 米沢市立塩井小学校 | 6年 |

●3部 (中1～3年)

- | | | | |
|-------------|-------|-------------|----|
| 山形県知事賞 | 丸谷 真嬉 | 鶴岡市立鶴岡第三中学校 | 1年 |
| 山形県農協中央会会長賞 | 小林 柊也 | 川西町立川西中学校 | 3年 |
| 優秀賞 | 早坂 菜摘 | 米沢市立第一中学校 | 3年 |
| | 戸田 和幸 | 米沢市立第一中学校 | 1年 |
| | 山崎 遥斗 | 米沢市立第二中学校 | 3年 |
| | 保科 紅葉 | 川西町立川西中学校 | 2年 |
| | 中目 量太 | 鶴岡市立鶴岡第三中学校 | 1年 |

●学校奨励賞

米沢市立北部小学校
鶴岡市立鶴岡第三中学校

図画部門

●1部 (小1～3年)

- | | | | |
|-------------|-------|------------|----|
| 山形県知事賞 | 秋保 一路 | 尾花沢市立鶴子小学校 | 2年 |
| 山形県農協中央会会長賞 | 工藤 壮真 | 新庄市立萩野学園 | 1年 |
| 優秀賞 | 関 心和 | 白鷹町立鮎貝小学校 | 1年 |
| | 大場 雄翔 | 最上町立富沢小学校 | 2年 |
| | 石山 蒼 | 最上町立富沢小学校 | 2年 |
| | 鈴木 瑠桜 | 米沢市立塩井小学校 | 2年 |
| | 佐藤 花音 | 三川町立東郷小学校 | 3年 |

●2部 (小4～6年)

- | | | | |
|-------------|---------|-------------|----|
| 山形県知事賞 | 木村 佳恵 | 山形市立東小学校 | 4年 |
| 山形県農協中央会会長賞 | 星川 煌 | 尾花沢市立尾花沢小学校 | 6年 |
| 優秀賞 | 西尾アシュリン | 尾花沢市立尾花沢小学校 | 4年 |
| | 尾崎ありさ | 尾花沢市立玉野小学校 | 5年 |
| | 尾崎 翠玖 | 尾花沢市立玉野小学校 | 6年 |
| | 狩野 祐輔 | 高島町立屋代小学校 | 6年 |
| | 岩浪 廉 | 鶴岡市立京田小学校 | 5年 |

●3部 (中1～3年)

- | | | | |
|-------------|-------|-----------|----|
| 山形県知事賞 | 古内 慧士 | 山辺町立山辺中学校 | 3年 |
| 山形県農協中央会会長賞 | 朝倉 春花 | 山形市立金井中学校 | 1年 |
| 優秀賞 | 原田 陽菜 | 山形市立金井中学校 | 2年 |
| | 鈴木妃依里 | 山形市立金井中学校 | 2年 |
| | 川口 憧 | 山辺町立山辺中学校 | 3年 |
| | 宗田 萌 | 山辺町立山辺中学校 | 3年 |
| | 齋藤 美維 | 鶴岡市立羽黒中学校 | 2年 |

●学校奨励賞

尾花沢市立尾花沢小学校
山辺町立山辺中学校